

# P F O S 汚染水放出計画が浮上

## 謝花副知事「県として承服できない」



会派要請に対し、県の姿勢を表明する謝花副知事＝沖縄県庁、2021年7月16日

米普天間飛行場からのPFOS汚染水放出計画が明らかになったことを受け、会派立憲おきなわ（仲村未央代表）は7月16日、謝花喜一郎副知事と面談。米軍及び日本政府に対し、同計画を中止させるよう要請しました。

計画によれば、処理された汚染水は、一般の下水道から県の最終処分場に向かいますが、通常の汚水処理ではPFOSは低減されません。最終的にはそのまま海に流れることになり、有害物質の蓄積など周辺環境への悪影響が懸念されます。従来行ってきた「焼却処分」について、米軍は、「経費と時間がかかる」とし、下水道への放出を提案しているということです。

昨年4月の同施設からの泡消火剤の流出、去る6月のうるま市陸軍貯油施設からの流出など相次ぐ事故の発生、通報遅れ、事故歴の不公表など米軍の有害物質の管理に対する県民の不信と不安は尽きません。5年前に発覚した嘉手納基地周辺河川

のPFOS汚染についても米軍は原因究明にまったく非協力であり、県企業局の立入調査をなおも拒否し続けています。米軍の財政事情を優先し、県民の命に関わる問題を後ろにするような提案は断じて受入れられません。謝花副知事は「承服できる話ではない」と述べ、沖縄県として放水計画の中止を求めていく姿勢を明確にしました。

### 汚染水放出「承服せず」

#### 米軍PFAS 県、日米に中止要請へ

米軍が普天間飛行場内から放出している汚染水について、県が日米両政府に中止を求め、県民の健康被害を防止するよう要請した。放出の歩調を遅くし、放出の量を減らすこと（削減）が望ましいと述べた。放出の歩調を遅くし、放出の量を減らすこと（削減）が望ましいと述べた。放出の歩調を遅くし、放出の量を減らすこと（削減）が望ましいと述べた。

謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。

謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。

謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。謝花副知事は、PFASの削減を促すよう要請した。